

Miyagi Cardiovascular  
&  
Respiratory Center

宮城県立循環器・呼吸器病センター案内



所在地 〒989-4513  
宮城県栗原市瀬峰根岸55-2  
電話 0228(38)3151  
FAX 0228(38)4250・2518  
E-mail mcrc-info@miyagi-pho.jp  
<http://www.miyagi-pho.jp/mcrc/>

## ごあいさつ



地方独立行政法人宮城県立病院機構  
宮城県立循環器・呼吸器病センター  
理事兼院長 近内 利明

日頃、当センターの運営にご理解とご協力を賜りまして誠に有難うございます。

日本全国が東日本大震災で大きく揺れてから2年余りが経ちました。最近でこそメディカルメガバンクによる被災地医療支援の動きが活発化しておりますが、震災以降、特に被災地を中心とした県北地域では医師不足が顕著になっており、当センターも残念ながら例外ではありませんでした。特にこの1年間、当センターの医師不足によって地域医療機関の方々には大変ご迷惑をおかけしておりました。しかし、この4月から循環器科、呼吸器科、消化器科、放射線科それぞれの診療科で医師が増員されるなど、ある程度診療体制を強化する事が出来ました。今後循環器疾患の救急対応を含め当センターとしての使命を全うすべくさらに努力してまいります。

また今年2月、当センターは東北大学大学院医学系研究科と呼吸器・感染症領域における連携大学院講座を開設する事が出来ました。これにより、県内唯一となっている結核の専門入院加療施設としての機能をはじめ、呼吸器・感染症診療において、基本理念に明記した「より高度かつ良質で心温かな医療の提供」に加え、この領域における研究施設としての役割、また次世代の医療を担う人材育成機関として役割を果たしていくことになりました。まだまだ微力ではありますが、地域医療の活性化に向けてお手伝いできたと自負しております。

医師が充足されたとはいえまだまだ十分とは言えず、構造的な医師不足は一医療機関では解決し難い問題であります。機能の分担など様々な面で県北地域医療機関の連携を強化していくことで、少しでもその解消を図っていくことが重要と考えております。

最後に、県民の皆様が安心して医療を提供すべく、職員一同な一層気を引き締め取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成25年7月

# 基本理念

中核的専門病院として県民から信頼され、より高度かつ良質で心温かな医療を提供することを目指します。

# 基本方針

- 1 循環器系及び呼吸器系疾患に対する高度医療並びに救急医療を提供します。
- 2 重症呼吸器感染症に対する医療を提供します。
- 3 医療連携を密とした地域医療の充実向上に努めます。
- 4 被災者の医療支援に努めます。
- 5 病院経営の健全化に努めます。
- 6 医療安全・患者様の権利の向上に努めます。

# 患者様の基本的権利と責任

- 1 平等かつ公平に医療を受ける権利
- 2 最善の医療を受ける権利
- 3 疾病及び治療法について説明を受ける権利並びにその内容について他の医療機関で説明を聴く権利
- 4 治療法について自己決定する権利
- 5 診療情報等の開示を請求する権利
- 6 医療機関を選択する権利
- 7 プライバシーを守る権利
- 8 参加と共同の責任

# I 病院の概要

## 1 沿革

- 昭和27年12月 宮城県立瀬峰療養所開所(内科・外科152床)
- 昭和29年 3月 病床306床に増床
- 昭和29年 4月 附属准看護婦養成所開所
- 昭和34年 9月 附属ベツトスクールを併設
- 昭和40年10月 宮城県立瀬峰病院と改称(病床数230床)
- 昭和47年 3月 附属准看護学校閉校
- 昭和52年 7月 瀬峰病院の改築について栗原地方町村会が陳情, 請願
- 昭和53年 3月 県議会請願を採択
- 昭和55年12月 県北地域県立病院整備協議会を設置
- 昭和56年 5月 同協議会意見書を提出
- 昭和56年 6月 県立瀬峰病院整備専門委員会を設置
- 昭和58年10月 本館建築工事に着手
- 昭和59年 4月 病床数130床(一般80床, 結核50床)に縮小
- 昭和60年 6月 本館建築工事完成
- 昭和60年10月 新病院開院(病床数150床)
- 昭和61年 4月 病床数200床に増床(一般150床, 結核50床)
- 平成15年 4月 宮城県立循環器・呼吸器病センターと名称変更
- 平成17年 7月 呼吸器感染制御病棟(第1種2床, 第2種6床含む)別棟新設開所
- 平成17年10月 MRI室新設開所
- 平成20年 3月 心臓血管カテーテル検査室増設開所
- 平成23年 4月 地方独立行政法人へ移行

## 2 施設の概要

当病院は、県北地域の中核的専門病院として循環器系及び呼吸器系を中心とした診療を行っており、県北地域における開心並びに開胸手術の中心施設となっている。また、地域医療機関との連携のもとに循環器系疾患の高次救急医療を24時間体制で行っている。

- (1) 所在地 栗原市瀬峰根岸55-2
- (2) 開設者 独立地方行政法人宮城県立病院機構 理事長 菅村 和夫
- (3) 開設年月日 昭和27年12月15日
- (4) 診療科目 (7科)  
循環器科, 心臓血管外科, 呼吸器科, 呼吸器外科, 消化器科, 放射線科, 麻酔科
- (5) 病床数 一般150床, 結核50床, 計200床
- (6) 基準サービス等  
一般病棟 (7:1入院基本料)  
呼吸器感染制御病棟 (10:1入院基本料)  
急性期看護補助加算 50:1  
入院時食事療養 (I)

(8) 施設指定

イ 公的医療取扱認証等

- 感染症の予防及び感染症患者に対する医療機関（結核医療機関）
- 生活保護法指定医療機関の指定(平成23年4月1日)
- 在宅酸素療法指導管理料の算定保健医療機関届出（承認）
- 重症者の看護及び重症者の収容の施設基準承認
- 原子爆弾被爆者の医療等に関する法律による被爆者一般疾病医療機関の指定
- 更正医療を担当する医療機関の指定（心臓血管外科に関する医療）
- 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料
- 救急病院等を定める省令に基づく医療機関の認定
- 労災保険指定医療機関の指定

ロ 医師研修等学会認定・指定

- 日本呼吸器学会 認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定医制度認定施設
- 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
- 社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 呼吸器外科専門医認定機構基幹施設認定
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設の関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本静脈経腸栄養学会・NST稼働施設認定
- 日本静脈経腸栄養学会・NST実地修練認定教育施設認定
- 日本内科学会教育関連病院認定
- 東北大学病院 地域医療連携施設認定
- 病院機能評価Ver.6.0施設認定
- 東北大学医学部連携講座「臨床呼吸器・感染症学講座」設置

(9) 敷地面積 66,583.54㎡

(10) 建物面積 延15,735.97㎡

## Ⅱ 主要医療機器

MRI装置

2管球MSCT装置

多目的DR-X線TVシステム

核医学データ処理装置ガンマカメラシステム

血管内超音波画像診断装置

心臓用超音波診断装置

自動血球計算分析装置

超音波診断装置

患者監視装置

手術室モニタリングシステム

心臓血管造影システム

患者監視装置

臨床化学自動分析装置

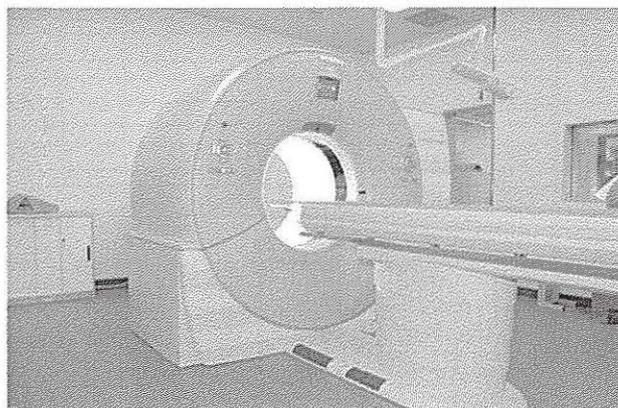
人工心肺装置

人工呼吸器

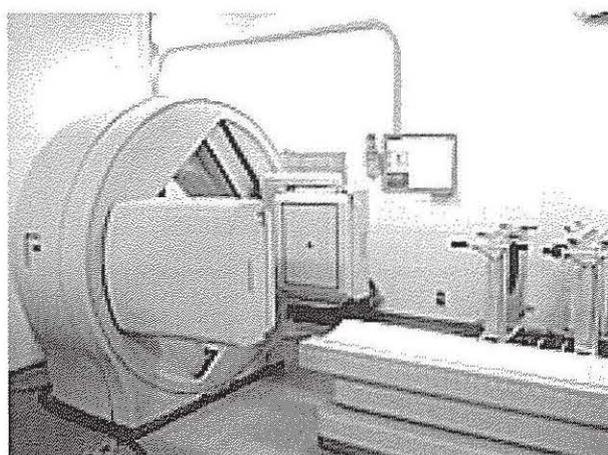
CR-X線画像診断システム

外科用X線撮影装置

生化学分析装置



2管球MSCT装置



核医学データ処理装置ガンマカメラシステム



心臓血管造影システム

### Ⅲ 手術件数及び心臓カテーテル等検査件数

(1) 手術

(単位:件)

年 度	心臓血管外科	呼吸器外科	ペースメーカー	合 計
18	163	97	—	260
19	131	90	—	221
20	147	79	—	226
21	153	94	—	247
22	166	80	—	246
23	56	75	73	204
24	53	68	40	161

(2) 心臓カテーテル検査及びPCI(経皮的冠動脈形成術)等の治療

(単位:件)

年 度	心臓カテーテル 検査および治療	PCI等の治療
18	1,051	257
19	945	213
20	993	267
21	1,017	256
22	832	202
23	723	205
24	446	64

### Ⅳ 検査状況

(単位:件)

区分 年度	一 般 検 査	生化学 検 査	血 液 検 査	血 清 検 査	輸 血 検 査	細 菌 検 査	生 理 検 査	病 理 検 査	細胞診 検 査	その他 検 査	内視鏡 検 査	合 計
15	59,712	223,531	88,223	13,460	—	26,466	15,047	409	974	6,410	1,082	435,314
16	52,179	216,551	78,398	13,003	—	19,507	17,468	326	874	5,033	839	404,178
17	58,592	252,252	86,979	13,998	—	14,324	18,851	328	940	6,619	823	453,706
18	59,542	248,294	86,406	13,270	—	19,275	16,888	307	1,038	4,584	910	450,514
19	55,140	268,298	91,095	8,190	4,688	23,786	16,466	237	502	6,367	746	475,515
20	51,384	267,682	94,533	7,846	5,128	18,401	16,677	555	725	7,764	733	471,428
21	56,648	279,929	105,591	9,130	4,988	23,326	18,706	311	1,022	15,289	910	515,850
22	56,707	254,848	99,586	6,776	3,589	22,567	17,721	217	1,220	12,231	666	476,128
23	63,137	251,169	99,694	1,925	3,186	15,472	12,394	134	492	16,144	479	464,226
24	56,929	217,628	91,006	1,899	2,136	12,074	10,377	147	483	20,465	361	413,505

## V 放射線利用状況

(単位:件)

区分 年度	単 純		造 影			特 殊				超音波 検 査	合 計
	一 般	断 層	消化器	循環器	胆嚢腎臓等	RI	CT	MRI	眼底カメラ		
14	20,404	90	123	5,721	0	2,854	4,525	—	391	436	34,544
15	22,359	17	156	6,775	0	3,399	4,549	—	539	828	38,622
16	17,932	2	134	6,828	0	2,864	4,091	—	590	762	33,203
17	17,673	0	120	7,907	1	2,454	4,157	257	686	615	33,870
18	16,396	0	84	6,699	4	1,915	3,743	702	662	633	30,838
19	15,861	0	85	5,739	1	1,342	4,832	684	634	660	29,838
20	15,300	0	49	7,264	0	1,505	7,368	757	685	574	33,502
21	16,241	0	25	7,160	0	1,711	7,422	982	634	491	34,666
22	14,794	0	18	6,020	2	1,482	6,644	712	606	381	30,659
23	13,644	0	0	740	0	479	2,769	667	513	396	19,208
24	11,258	0	0	450	0	467	2,731	682	13	257	15,858

※平成23年度より人数で算定

## VI 地域別患者延数

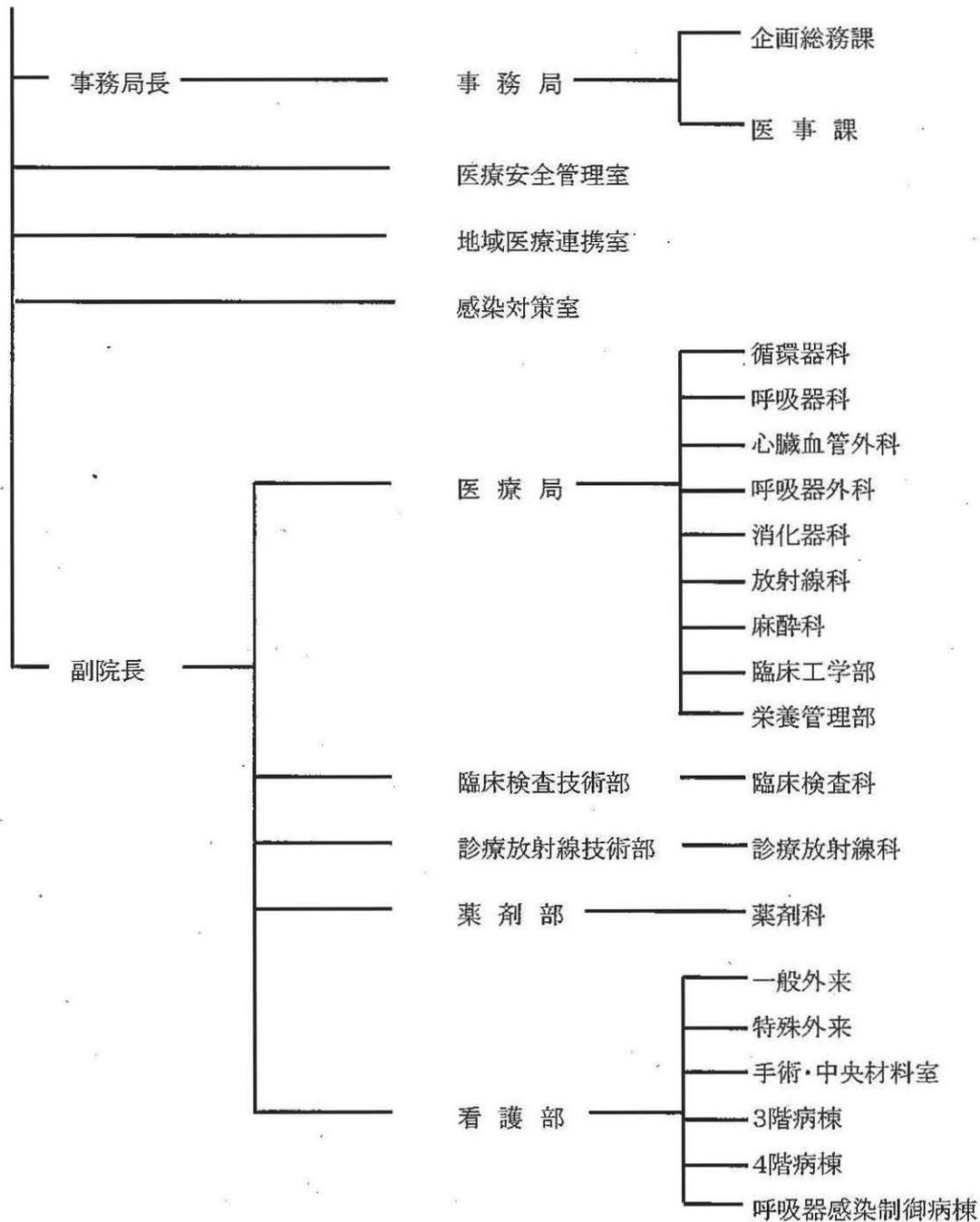
(単位:人)

区 分	平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			
	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	
県北医療圏	粟 原 市	9,937	12,091	22,028	10,212	12,186	22,398	7,941	11,892	19,833	6,794	9,886	16,680
	登 米 市	13,141	16,062	29,203	11,152	15,543	26,695	9,764	14,349	24,113	8,136	12,281	20,417
	大 崎 市	1,674	2,413	4,087	2,206	2,648	4,854	1,279	2,765	4,044	1,018	2,095	3,113
	加 美 郡	376	86	462	267	97	364	230	107	337	296	158	454
	遠 田 郡	1,817	2,013	3,830	1,064	2,152	3,216	1,140	1,665	2,805	1,124	1,613	2,737
その他医療圏	本 吉 郡	349	372	721	388	307	695	1,219	487	1,706	408	322	730
	そ の 他 郡	507	226	733	696	347	1,043	596	121	717	189	123	312
	仙 台 市	2,197	226	2,423	4,734	198	4,932	3,037	316	3,353	2,099	131	2,230
	石巻市・東松島市	1,435	425	1,860	1,963	419	2,382	824	536	1,360	843	411	1,254
	塩 釜 市	99	8	107	9	10	19	2	11	13	0	2	2
	気 仙 沼 市	761	183	944	140	151	291	615	176	791	424	123	547
	そ の 他 市	138	20	158	370	10	380	297	19	316	117	16	133
県 外	岩 手 県	0	35	35	18	15	33	235	343	578	173	297	470
	そ の 他 県	280	320	600	291	239	530	293	107	400	104	151	255
合 計	32,711	34,480	67,191	33,510	34,322	67,832	27,472	32,894	60,366	21,725	27,609	49,334	

※ 本吉町については、平成21年9月から気仙沼市に含む。

# 組織機構

院 長



# 外来診療担当医表

(平成25年6月3日現在)

1 曜日 診療科	診察室 【内線番号】	受付時間 ( )内:新患又は 再来予約外の方	月	火	水	木	金
			呼吸器科	①	8:15~12:00 (8:15~11:30)	平湯 洋一	東條 裕 (東北大)
	化学療法室	9:00~12:00 完全予約制 化学療法患者のみ	内山 美寧	内山 美寧	小林 誠 (東北大)	光石 陽一郎 (東北大)	
循環器科	②	8:15~14:00	田中 光昭 (再来)	小丸 達也 (新患)	小丸 達也 (再来)	大沢 上 (再来)	柴田 宗一 (再来)
	③	(8:15~11:30)	柴田 宗一 (新患)	大沢 上 (再来)	三浦 裕 (新患)	大崎市民病院 応援医師 (新患)	大沢 上 (新患)
心臓血管 外科	⑦	月 8:15~11:30 水 8:15~11:15 金 8:15~14:00	近内 利明		伊藤 康博		伊藤 康博
放射線科	⑥	8:15~14:00	平出 智道		平出 智道		
呼 吸 器 外 科	⑦	8:15~12:00		磯上 勝彦		磯上 勝彦	
	⑥	(8:15~11:30)		島田 和佳		島田 和佳	宮本 彰 (健診外来)
神経内科	⑧	8:15~11:00				第1・3・5週 中島 一郎 (東北大)	
						第2・4週 加藤 量広 (東北大)	
消化器科	⑩	8:15~11:30				佐竹 宣明 (東北大・糖尿病 外来を含む※)	
	⑧	8:15~11:30	消化器科 担当医師	消化器科 担当医師	消化器科 担当医師		消化器科 担当医師
小 児 循 環 器 科	⑩	13:00~15:00	川野 研悟 (東北大)				
糖 尿 病 外 来 ( 応 援 医 )	⑩	8:15~11:30				(※)	第1・3・5週 甲斐 之泰 第2・4週 栗原中央病院 応援医師
ペ ー ス メ ー カ ー ク リ ニ ッ ク	③	~12:30 (毎週水曜日)			三浦 裕		

※ 呼吸器科、循環器科、呼吸器外科を受診される患者様で、初めて受診される方又は予約なしでの再来の方については、受付時間が上記のとおり異なりますので、御注意願います。〔上記受付時間の( )内に記載〕

※ ペースメーカークリニックは、原則として、毎週水曜日となります。また、対象患者様には、葉書にて御案内しております。

※ 呼吸器科の化学療法は完全予約制です。

※ 健診外来は10時からの診察です。結核予防会等の健診の結果、精検となった方が対象となります。

※ 検査・診療等の開始時間は、8時30分からとなります。ただし、心臓血管外科の水曜日の診療は、午前9時30分から診療開始となります。

## 宮城県立循環器・呼吸器病センター

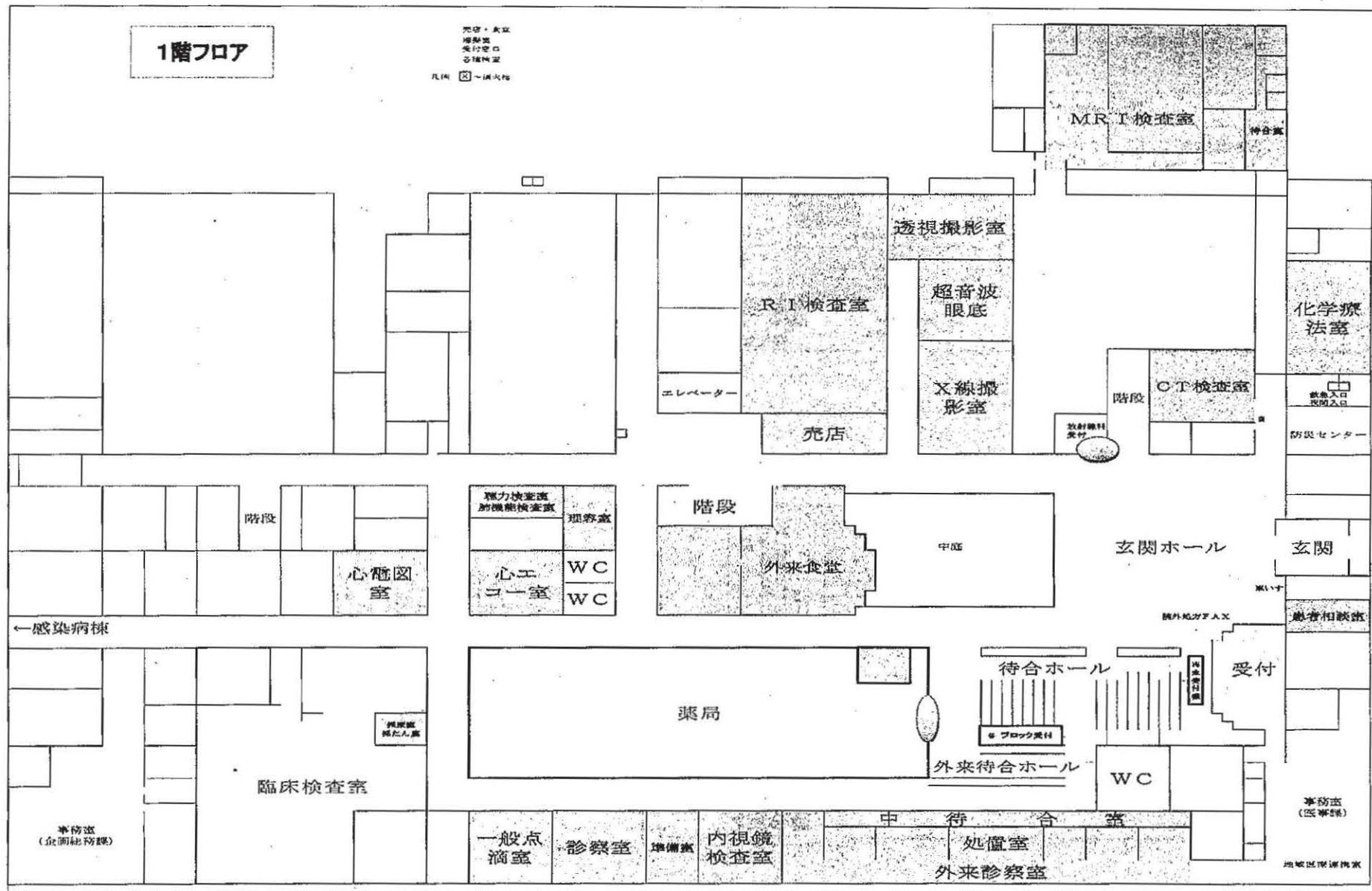
TEL : 0228-38-3151 FAX : 0228-38-4250

# 主要職員名簿

(平成25年7月1日現在)

所 属	職 名	氏 名	摘 要
事務局  企画総務課 医事課	理事兼院長	近 内 利 明	手術部長
	副院長兼医療安全管理室長	磯 上 勝 彦	
	副院長兼感染対策室長	平 潟 洋 一	
	副院長	小 丸 達 也	
	事務局長	山 越 勝 彦	
	次長兼企画総務課長	熊 谷 幸 一	
	課長補佐兼企画総務係長 課長	橋 本 芳 明 小 野 寺 利 彦	
医療安全管理室	(兼)室長 主任	磯 上 勝 彦 高 橋 美 子	(副院長兼務) 医療安全管理者
地域医療連携室	室長 上席主任(室長補佐)	及 川 千 鶴 子 遠 藤 由 美 子	
感染対策室	(兼)室長 室長補佐	平 潟 洋 一 嶋 山 純 子	(副院長兼務) (看護部副部長兼務)
医療局	医療局長兼診療放射線技術部長 医療部長兼薬剤部長 医療部長 医療部長 医療部長 医療部長 主任医長 主任医長 主任医長 主任医長 医長 医長 医師	内 山 美 寧 伊 藤 康 博 島 田 和 佳 大 沢 上 佐 久 間 啓 田 中 光 昭 齊 藤 大 雄 角 田 博 柴 田 宗 一 宮 本 彰 三 浦 裕 金 森 肇 平 出 智 道	呼吸器科部長 心臓血管外科部長 呼吸器外科部長 第1循環器科部長・外来部長 心臓血管外科科長 第2循環器科部長 呼吸器科科長 麻酔科科長 循環器科科長 呼吸器外科科長 循環器科 呼吸器科 放射線科科長
臨床検査技術部 臨床検査科	部長 上席主任兼科長	近 野 寿 美 枝 泉 澤 淳 子	
診療放射線技術部 診療放射線科	(兼)部長 上席主任兼科長	内 山 美 寧 佐 藤 益 弘	(医療局長兼務)
薬剤部 薬剤科	(兼)部長 上席主任兼科長	伊 藤 康 博 富 塚 宗 浩	(医療部長兼務)
看護部	部長 副部長 副部長 看護師長 看護師長 看護師長 看護師長 看護師長 看護師長 (兼)看護師長	大 友 伸 子 菅 原 美 津 江 嶋 山 純 子 狩 野 一 枝 久 光 富 栄 武 内 則 子 大 石 幸 子 鈴 木 昭 子 小 出 真 理 子 武 内 則 子	教育担当 業務担当 3階病棟 4階病棟 感染制御病棟 外来 特殊外来 手術・中央材料室 感染制御・特定区域

# 院内マップ





栗医推第0529001号

平成26年5月29日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

栗原市長 佐 藤



宮城県立大学の医学部新設に対する栗原市の支援について

栗原市は、宮城県立大学に医学部設置が認可されましたら、栗原市議会の議決を条件に、以下のとおり支援することを確約いたします。

- 1 栗原中央病院の土地、建物、設備機器等は無償譲渡すること。
- 2 開学から10年間、5億円ずつ財政支援すること。
- 3 上記以外で、宮城県と栗原市で協議、合意すること。

## はじめに

### ■宮城県広域防災拠点整備の基本方針

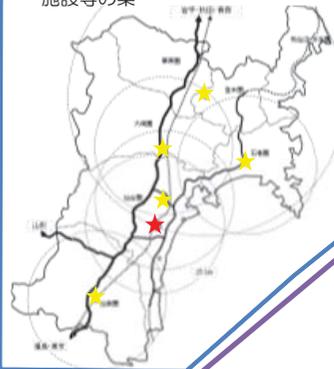
- 災害発生時には、関係機関（市町村、自衛隊等）と連携し、迅速かつ確に災害応急活動を実施し、県民を災害から守るための活動拠点及び物資輸送中継拠点等として、県内被災地等の活動拠点における災害対応を広域的に支援する。
- 宮城県広域防災拠点を中心として、既存の県有施設や市町村が整備する地域防災拠点等との機能補完、相互連携によるネットワークのもと、全県的な防災体制を整備する。
- 平常時は、自然豊かな都市公園として県民の憩いの場になるとともに、県民の防災知識等の普及啓発や防災訓練の場としても活用する。

### ■宮城県広域防災拠点の計画地

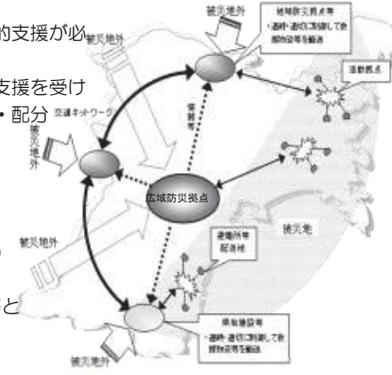
東日本大震災における災害対応の教訓を踏まえ、交通輸送上の利便、基幹災害拠点病院や陸上自衛隊の駐屯地が近接することなどを考慮し、仙台市宮城野原地区に宮城県広域防災拠点を整備する。

## 宮城県広域防災拠点の基本的な考え方

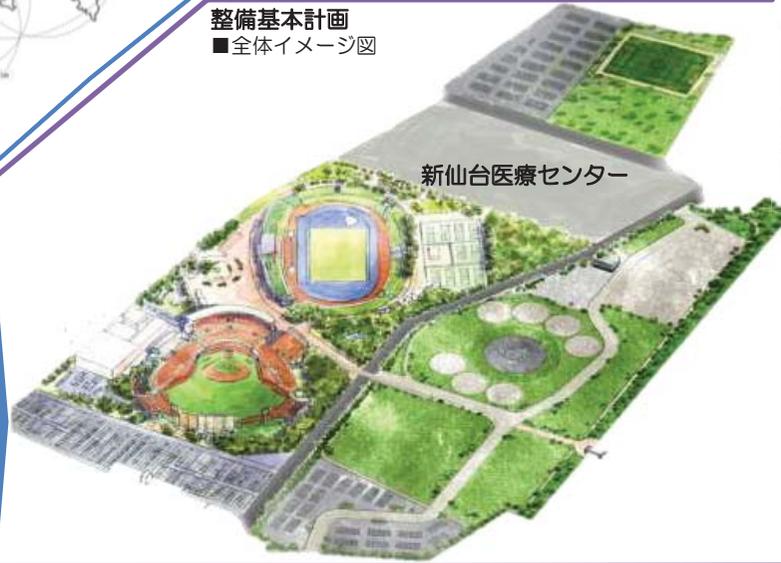
- 宮城県広域防災拠点の位置付け
  - ◇市町村の防災活動の円滑な実施を強力に支援するための拠点
  - ◇災害の規模、発生場所によっては「活動拠点」と「後方支援拠点」の機能を使い分け、または同時に発揮する拠点
- 今後、宮城県は市町村と効果的連携体制を構築する。
- 防災ネットワークの拠点となる施設等の案



- 基本的な役割
  - 市町村の防災活動を的確に進めるための支援の拠点
  - ＜地域防災拠点等では持つことが難しい重要な役割＞
  - 広域的に大規模な人的支援が必要な際の一次集結
  - 短時間に大量な物的支援を受ける場合の物資の中継・配分
- 他の都道府県への支援の拠点
- 受援力の向上
- 災害医療拠点としての展開
- 基幹的広域防災拠点等との連携



## 整備基本計画 ■全体イメージ図



## ■土地利用計画（イメージ）

パターンA：現況の外周道路を活かし、災害時に発生する大型車交通を円滑に処理していくための主要幹線ルートを設定する案



パターンB：現総合運動場と計画地を一体的な公園とするため、中央道路を計画地東側に置き換える案



パターンC：平常時の利用に重点をおき、計画地内は園路等による有機的なネットワークを構築する案



## 導入機能と具体的活動

機能	災害初期期 (発生直後 ～3日後)	災害対応中期 (～10日後)	災害対応後期 (～数週後)	施設・設備等
救助 救急 消火	進出拠点、消防・警察・自衛隊のベースキャンプ、救助者の収容等	同左 (要支援期間が延びた場合)	-	広場（集結・野営場所） 雨水貯留施設 耐震性貯水槽
災害 医療	傷病者の治療、SCU、DMATベースキャンプ	同左 (要対応期間が延びた場合)	(入院、通院治療など)	病院（仙台医療センター） SCU用地
緊急 輸送	負傷者、医薬品、支援部隊の搬送	同左 (救助・救急等の活動期間が延びた場合)	医薬品等の搬送	ヘリポート、駐機場、給油スペース
物資 輸送 供給	政府調達物資の受入、集積所等への搬出	政府調達物資の受入、夜間到着トラックの待機、民間倉庫・避難所等への搬出	同左	荷捌き場、トラックターミナル（駐車場）
備蓄	活動物資等の使用	-	-	大型テント、資機材など (平常時は防災センター内)
現地 調整	前進基地としての現地指令、複数の都道府県隊間の調整、後方支援機能の利用調整など	同左	同左	防災センター（オペレーションルーム・会議室、管理室、仮眠室、シャワー室、調理室、情報通信設備、発電機等）
ポラン ティア	-	-	自立的ポランティアのベースキャンプ	広場（野営場所）

## 平常時の活用方法

- 基本的な考え方
  - 周辺環境や景観に配慮するとともに安心・安全なまちづくりに貢献する。
  - 発災時には広域防災拠点として速やかに機能することができる土地利用とする。
- 平常時利用における基本的な機能
  - 県民がリフレッシュできる場
  - 次世代への防災教育の場
  - 多様な主体による防災訓練の場



## ■整備スケジュール

◇仙台貨物ターミナル駅の移転・撤去、用地の引き渡し後、次のとおり想定



## ■具体化に向けた課題

- 市町村との連携
- 隣隣の広域防災拠点との連携（相互応援）
- 有事の際の運営体制
- 自衛隊基地との連携
- 既存公共施設の利活用及び屋内施設の検討
- 被害想定に基づく活動シミュレーションの検討、実施